令和５年度 紫原小学校「学校だより」（NO.6）

つくしんぼ

Tel 251－1323 http://keinet.com/murasas

教育目標 夢と希望を持ち「自立」した紫原の子供を育てる
～あいさつ・掃除が確実にできる子供の育成～

発行日 令和５年10月27日
発行責任者 校長 川畑 敏彦

地域とともに

校長 川畑 敏彦

先日，校内を回っていると，1年生の黒板に大きな「くじら」の絵が貼ってありました。そうです。国語で勉強している「くじらぐも」です。

また，別の日に，3年生の子供たちがよく晴れた天気の日に，自分の影をじっと見つめ，空を見上げている光景を見かけました。「かげおくり」をしているのです。国語で勉強している「ちいちゃんのかげおくり」です。

私は，2校目で南さつま市にある坊津の清原小という学校に勤務しました。校区には4つの集落があり，私はそのうちの1つの集落に住んでいました。その家が，ちょうど公民館の隣にあり，夕方になると子供たちが教科書をもって集まってきます。

「これから，子供会の本読みを始めます！」集落放送が流れ，6年生のリーダーの子供の元気な声で始まります。続いて，1年生の声。「“くじらぐも”を読みます。・・・てんまでとどけ！いち，にい，さん!!」一字一字しっかりと間をとって，一生懸命読んでいる様子が伝わってきます。きっと，学校や家庭で一生懸命読む練習をしてきたのでしょう。

各家庭では，夕方の時間に，その声を聴きながら夕飯の準備が進んでいることでしょう。畑仕事が終わって，夕飯を食べながら，晩酌をしながらその声を聴いている家もあるのでしょうか。

明日の朝は，きっと放送を聞いた方々から「上手だったよ」「元気があってとってもよかったよ」などと声をかけられるのでしょう。

こんな風景が，各地域で見られました。紫原校区も同様だったのではないでしょうか。

最近，グリーンベルトで立哨指導をしていると，散歩をしている地域の方々が声をかけてくれます。子供たちにも声をかけてくださいます。子供たちからあいさつをしたり返事をしたりする姿はまだまだ少ないですが，少しずつ増えてきています。

先日の全校朝会では，そのことを取り上げ「あいさつをされたおばあさんは，とっても嬉しそうに，にこにこしていました。みんなからあいさつをされるとうれしい気持ちになるのですね。『おはよう』というあいさつには，『今日も仲良くして，良い一日にしようね』というお互いの気持ちを確認するとても大切なメッセージがあるのです。」と話しました。

先日の運動会では，1,000名以上の方々に来校いただき，子供たちの応援をしていただきました。1年生が行った玉入れの玉は，敬老会で地域の方々にお願いしたところ，すべて地域の方方がつくってくださいました。本当にありがたいです。敬老席もいっぱいで，きっとお手玉を作ってくださった方々も見守っていただいたことと思います。

「地域とともにある学校」とよく言われます。特別なことをしなくても，学校と地域がつながっていられる。お互いに困っていることを補い合える。お互いのことを見ている。そこを大切にしたいと思います。それにはやはり，まずはあいさつがしっかりできることだと考えます。

11月1日，2日は「つくしっ子学習参観」を計画しています。地域の方々も来校いただき，ぜひ子供たちの様子をご覧ください。